

工事概要

項 目	特 記 事 項																																																																																			
▶ 1. 工事種目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th><th>新 設</th><th>改 修</th><th>摘 要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空気調和設備工事</td><td>● 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>暖房設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>冷房設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>換気設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>排煙設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>給油設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>自動制御設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>屋外給水設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>屋内給水設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>屋外排水設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>屋内排水設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>屋内給湯設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>衛生器具設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>消火設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>屋外ガス設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td>屋内ガス設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	新 設	改 修	摘 要	空気調和設備工事	● 一式	○ 一式		暖房設備工事	○ 一式	○ 一式		冷房設備工事	○ 一式	○ 一式		換気設備工事	○ 一式	○ 一式		排煙設備工事	○ 一式	○ 一式		給油設備工事	○ 一式	○ 一式		自動制御設備工事	○ 一式	○ 一式		屋外給水設備工事	○ 一式	○ 一式		屋内給水設備工事	○ 一式	○ 一式		屋外排水設備工事	○ 一式	○ 一式		屋内排水設備工事	○ 一式	○ 一式		屋内給湯設備工事	○ 一式	○ 一式		衛生器具設備工事	○ 一式	○ 一式		消火設備工事	○ 一式	○ 一式		屋外ガス設備工事	○ 一式	○ 一式		屋内ガス設備工事	○ 一式	○ 一式			○ 一式	○ 一式			○ 一式	○ 一式			○ 一式	○ 一式				
名 称	新 設	改 修	摘 要																																																																																	
空気調和設備工事	● 一式	○ 一式																																																																																		
暖房設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
冷房設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
換気設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
排煙設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
給油設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
自動制御設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
屋外給水設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
屋内給水設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
屋外排水設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
屋内排水設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
屋内給湯設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
衛生器具設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
消火設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
屋外ガス設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
屋内ガス設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																		
	○ 一式	○ 一式																																																																																		
	○ 一式	○ 一式																																																																																		
	○ 一式	○ 一式																																																																																		
※ 種目は●印を付したものを適用する ※ 空気調和設備工事とは、空調機等を設置し暖冷房を行う工事をいう ※ 暖房設備工事とは、直暖や個別暖房のみの工事をいう ※ 冷房設備工事とは、個別冷房のみの工事をいう																																																																																				

5) ステンレス鋼管継手の種類

種 類	冷 却 水	温 水	給 水	給 湯	消 火	備	考
<input type="checkbox"/> ブレス							
<input type="checkbox"/> 拡管式							ダブルブレス
<input type="checkbox"/> 溶接							
<input type="checkbox"/> ハウジング継手							

6) 埋設配管

防食処理 ☐ 土中
☐ ペトロラタム系防食テープ ()
☐ プチルゴム系絶縁テープ ()
☐ コンクリート内 ()
☐ プラスチックテープ ()

地中埋設標・埋設表示テープ・屋外配管埋設深さ

	地中埋設標		埋設表示テープ		屋外配管埋設深さ		
	車道道路	道路以外	凍結深度				
給水配管	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	GL- m以上	GL- m以上	GL- m以上		
ガス配管	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	GL-0.6m以上	GL-0.3m以上			
油 配 管	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	GL-0.6m以上	GL-0.3m以上			

要の場合、地中埋設標は図示する箇所、埋設表示テープは屋外埋設配管部分に適用する

7) 溶接部の検査

☐ 目視検査 ☐ 非破壊検査 (溶接部の種類:)
(検査の種類:)
(配管種別:)
(使用圧力:)
(抜き取り率:)

詳細は標準仕様書の当該事項による

8) 配管洗浄

☐ 冷温水管 ☐ 給水管 (☐ 1次側 ☐ 2次側)
☐ 冷却水管 ☐ 給湯管 ☐ 受水タンク ☐ 高置タンク
☐ 貯湯タンク ☐ 給湯用膨張タンク

高周波洗浄もしくは同等以上の方法による

飲料水管の場合は、端末において遊離残留塩素が0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う

2. 保温

標準仕様書第2編3.1.4及び5のうち保温材及び外装材は次による

断熱材は、特定フロン、代替フロン等、オゾン層を破壊する物質を含むしていないこと

1) 配管

保温材 ☐ グラスウール ()
☐ ロックウール ()
☐ ポリスチレンフォーム ()

外装材 i) 屋内露出
☐ 合成樹脂製カバー ()
☐ アルミガラスクロス ()
☐ その他 ()

ii) 機械室・書庫・倉庫
☐ アルミガラスクロス ()
☐ その他 ()

3. 塗装

イ. 屋内露出は、室内環境対応・配色系塗料又は水性系塗料の合成樹脂調合ペイントとする。
但し煙道、煙突は耐熱塗装とする。

ロ. 標管

- 合成樹脂調合ペイント ○ アルミニウムペイント・高気密 機械室内は、アルミニウムペイント
- 居室及び廊下は、きざみめペイント

ハ. 支持物及び架台類

- 合成樹脂調合ペイント ○ アルミニウムペイント
- * 合成樹脂調合ペイント

ニ. ダクト

- アルミニウムペイント ○ 調合ペイント

ホ. その他

4. その他及び付属品

1) ダクト

方式	○ 低圧	○ 高圧 1	○ 高圧 2
	○ その他 ()		
工法	○ アングルフランジ ()		
	○ コーナールボルト ()		
	(○ 共板フランジ ○ スライドオンフランジ)		
種別	○ 鉄板 ()		
	○ スパイラルダクト ()		
	○ 硬質塩化ビニル管 (VU) ()		
	○ 矩形 (アングルダクト工法) ()		
	○ その他 ()		

2) チャンバー等

イ. 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバー、ホッパーには排水を設ける

ロ. シーリングディフューザーには下記の接続ボックスを設ける

1) ネット径200φ以下 : 400×400×250H

2) " 200φをこえるもの : 500×500×300H

ハ. 換気吹出口には、下記の接続ボックスを設ける

1) BL-S、BL-D : 200×(長さ+100)×300H

2) BL-T、BL-W : 250×(長さ+100)×300H

ニ. 天井付制気口には、特記なき場合(制気口寸法+100)×250Hの接続ボックスを設ける

3) 防雪フード

イ. 材質

- ステンレス鋼板製 ○ SUS430
- SUS304
- その他 ()

ロ. 板厚 () mm

イ. 幕板 ○ 本工事

- ステンレス鋼板製 ○ SUS430
- SUS304
- 別途工事 ○ () mm

4) 排気フード

イ. 丸形フード ○ 防風形フード ○ その他 ()

材質

- ステンレス製
- アルミニウム製
- その他 ()

5) セルフード

イ. 丸形フード ○ 防風形フード ○ その他 ()

材質

- ステンレス製
- アルミニウム製
- その他 ()

6) 風量測定口

取付箇所

1. 特記した風量調整ダンパーの上流又は下流
2. 送排風機、空調機に近接した風道の部分
3. 外気取入風道の部分
4. その他指定部分

5. 制気口

1) 吹出口・吸込口

材質

- 樹脂製 ()
- 鋼板製
- アルミニウム材質
- その他 ()

[illegible][illegible]

2) ダクト

外気取入用ダクト及び排気用ダクトは保温を行う

保温材 ○ グラスウール ()
 ○ ロックウール ()
 ○ ポリスチレンフォーム ()
 ○ その他 ()

外装材 1) 屋内露出
 ○ 合成樹脂製カバー ○ カラー重鉛鉄板
 ○ 溶融アルミニウム—重鉛鉄板 ○ ステンレス鋼板
 ○ アルミガラスクロス ○ その他 ()

2) 機械室・書庫・倉庫
 ○ アルミガラスクロス ○ カラー重鉛鉄板
 ○ 溶融アルミニウム—重鉛鉄板 ○ ステンレス鋼板
 ○ 合成樹脂製カバー ○ その他 ()

3) 機器類

○ 冷温水ヘッダー ○ 冷水ヘッダー ○ 冷温水タンク
 ○ 冷水タンク ○ 温水タンク ○ 蒸気ヘッダー
 ○ 温水ヘッダー ○ 熱交換器 ○ 温水タンク
 ○ 膨張タンク

保温材 ○ グラスウール ○ ロックウール
 ○ その他 ()

外装材 ○ カラー重鉛鉄板 ○ 溶融アルミニウム—重鉛鉄板
 ○ ステンレス鋼板 ○ その他 ()

4) 冷媒被覆銅管

外 径	6.35	9.52	12.7	~	50.8
被覆厚					

5) 煙道
 排気筒

保温材 ○ ロックウール ○ その他 ()
 外装材 ○ カラー重鉛鉄板 ○ 溶融アルミニウム—重鉛鉄板
 ○ ステンレス鋼板 ○ その他 ()

6) 消音内貼り

施工方法は標準仕様の当該事項による
 施工箇所は図示したダクト及びチャンパー類とする

使用材料 ○ グラスウール ○ その他 ()
 厚さ ○ 25mm ○ 50mm

消音内貼チャンパーの寸法は外法寸法とする

ラス押え ○ 有 () ○ 無 ()

6. 貫通部の処理

- 1) 穴埋補修

穴埋補修は無収縮モルタル又はロックウール保温材で補修する
 なお、ロックウール保温材の場合は脱着防止の措置を施す
- 2) 防火区画の処理

イ 不燃材料の配管で貫通する場合は、その隙間をモルタル又はロックウール保温材で埋める

ロ 不燃材料以外の配管で貫通する場合は、建築基準法令に適合する工法とする

ハ スパンドレイルに付いたセルフードは抵抗しない事

7. 吊り及び支持

イ インサート金物は、吊りボルトに対し、適正なサイズのものを選定する

ロ 断熱材使用箇所におけるインサート金物は、断熱インサート金物とする

ハ 吊り用ボルトは、ビット内及び床下は被覆金ねじ又は丸鋼とする

イ 標準仕様書（第2編 第2章の2.2.27）による

ロ 外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブ

※つば付き鋼管スリーブ

○ 非加硫フチロン系止水材料（使用部位： ）

既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、原則として、ダイヤモンドカッターによる

「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（日本建築センター発行）に基づき、耐震施工を行う

○ 一般の施設 ○ 特定の施設 ○ 甲類 ○ 乙類

(1) 局部震度法による建築設備機器（水槽類を除く）の設計用標準水平震度（Ks）

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
1階及び地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

(注) () 内の数値は防振支持機器の場合に適用する

(2) 局部震度法による水水槽類の設計用標準水平震度（Ks）

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要水水槽	一般水水槽	重要水水槽	一般水水槽
上層階	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	1.5	1.0	1.0	0.6

重要機器は、次のいずれかに該当するものをいう。また、一般機器とは重要機器以外をいう

イ 災害応急対応策活動に必要な施設等において、施設目的に応じた活動を行うために必要な設備機器

ロ 危険物を貯蔵又は使用する施設において、危険物による被害を防止するための設備機器

16. コンクリート工事
1) コンクリート強度

強度	○ 16N/mm ²	○ 18N/mm ²	○ 21N/mm ²
スラブ	cm	cm	cm
施工箇所			

鉄筋種別	異形鉄筋	○ S D 295 A	○ S D 345	○ S D 390
補強筋	壁開口部	○ 基準配筋による	○ 構造図面による	
	床開口部	○ 基準配筋による	○ 構造図面による	
	その他	○ 基準配筋による	○ 構造図面による	

▶ 17. 使用機材

使用する機材は本社様書のメーカーリストによる

● メーカーリスト

機 器 名	指 定	製 造 所
7' x 9' 型空調機	三菱電機株式会社	イワシ工業株式会社

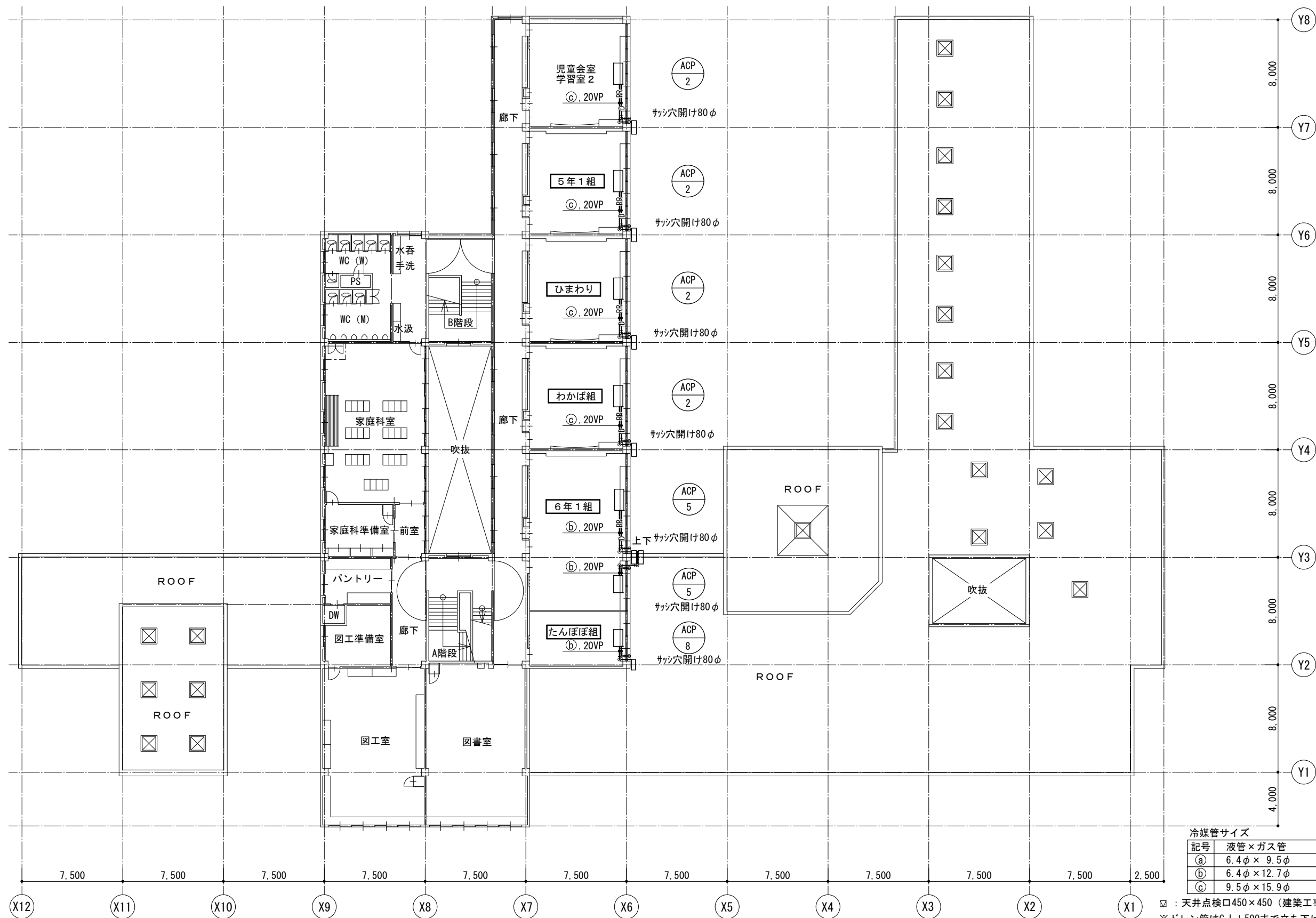
● 空気調和設備

項 目	特 記 事 項
▶ 1. エネルギープラン	○ 重油 ○ 灯油 ○ ガス (都市ガスの場合 ○ 低圧 ○ 中圧) ● 電気 ○ その他 ()
▷ 2. 空気調和方式	○ 全空気 ○ 空気-水 ○ 水 ○ 冷媒式
▷ 3. 暖房方式	○ 蒸気 ○ 温水 ○ 温風 ○ 電気 ○ 遠赤外線 ○ 放射 ○ その他 ()
▶ 4. 冷房方式	● 冷媒 ○ 冷水
▶ 5. 主要熱源機器及び付属機器	図内機器表による 容量等の表示、機器類の能力、容量等 (電動機出力は除く) は、原則として表示された数値以上とする
▷ 6. ばい煙濃度計	○ 設けない ○ 設ける
▷ 7. 煤じん量測定口	○ 設けない ○ 設ける (煙道直線部に100φ以上のフランジ差止とする)
▶ 8. 放熱器等	種別 ○ 錯鉄製放熱器 ○ パネルヒーター ○ ファンコイルユニット ○ ヒートポンプユニット ○ ファンコンベクター ○ ユニツトヒーター ● パッケージエアコン ○ F F 暖房機 ○ 電気ヒーター ○ 遠赤外線暖房機 ○ コンベクター ○ ペースボードヒーター ○ 床暖房 (○ 温水 ○ 電気) ○ ロードヒーティング (○ 温水 ○ 電気) ○ その他 ()

機器表（鷹栖中学校）

記号	機器名称	機 器 仕 様	電気容量			台数	設 置 場 所	備 考
			相	V	kW			
ACP-2	パッケージ形 空気調和機	室外機 定格冷房能力 10.0kW	3	200	3.09	1	1階 会議室	RCEA11242XU相当
		室内機 天井吊り形						
		制御線・電源線兼用方式（電源重畳方式）						
		標準仕様、冷媒はオゾン層破壊係数0のものとする。						
		・冷媒配管口径、配線は製造者標準仕様とする。						
		・室内機、室外機間の制御線・電源線配線（冷媒配管共巻）を含む。						
		・ワイヤレスリモコン、室外機用銅製架台（既製品）						PC-KJ60相当
ACP-4	パッケージ形 空気調和機	室外機 定格冷房能力 7.1kW	3	200	2.20	10	2階 1 A	RCEA08041XU相当
		室内機 天井吊り形 ドレンアップキット L字配管キット					2階 1 B	
		制御線・電源線兼用方式（電源重畳方式）					2階 学習室（AY3―AY4）	
		標準仕様、冷媒はオゾン層破壊係数0のものとする。					2階 学習室（AY4―AY5）	
		・冷媒配管口径、配線は製造者標準仕様とする。					2階 2 B	
		・室内機、室外機間の制御線・電源線配線（冷媒配管共巻）を含む。					2階 2 A	
		・ワイヤレスリモコン、室外機用銅製架台（既製品）					3階 3 A	PC-KJ60相当
							3階 3 B	
							3階 学習室	
							3階 多目的教室	
ACP-4'	パッケージ形 空気調和機	室外機 定格冷房能力 7.1kW	1	200	2.20	2	1階 音楽室×2	RCEA08041JXU相当
		室内機 天井吊り形						
		制御線・電源線兼用方式（電源重畳方式）						
		標準仕様、冷媒はオゾン層破壊係数0のものとする。						
		・冷媒配管口径、配線は製造者標準仕様とする。						
		・室内機、室外機間の制御線・電源線配線（冷媒配管共巻）を含む。						
		・ワイヤレスリモコン、室外機用銅製架台（既製品）						PC-KJ60相当
ACP-5	パッケージ形 空気調和機	室外機 定格冷房能力 5.6kW	3	200	1.43	2	1階 職員室×2	RCEA06341XU相当
		室内機 天井吊り形 ドレンアップキット L字配管キット						
		制御線・電源線兼用方式（電源重畳方式）						
		標準仕様、冷媒はオゾン層破壊係数0のものとする。						
		・冷媒配管口径、配線は製造者標準仕様とする。						
		・室内機、室外機間の制御線・電源線配線（冷媒配管共巻）を含む。						
		・ワイヤレスリモコン、室外機用銅製架台（既製品）						PC-KJ60相当
ACP-6	パッケージ形 空気調和機	室外機 定格冷房能力 5.0kW	3	200	1.86	2	3階 美術室×2	RCSA05634XU相当
		室内機 天井吊り形 ドレンアップキット L字配管キット					（1台ドレンアップ無し）	
		制御線・電源線兼用方式（電源重畳方式）						
		標準仕様、冷媒はオゾン層破壊係数0のものとする。						
		・冷媒配管口径、配線は製造者標準仕様とする。						
		・室内機、室外機間の制御線・電源線配線（冷媒配管共巻）を含む。						
		・ワイヤレスリモコン、室外機用銅製架台（既製品）						PC-KJ60相当
ACP-7	パッケージ形 空気調和機	室外機 定格冷房能力 4.5kW	3	200	1.45	1	1階 校長室	RCSA05043XU相当
		室内機 天井吊り形 ドレンアップキット L字配管キット						
		制御線・電源線兼用方式（電源重畳方式）						
		標準仕様、冷媒はオゾン層破壊係数0のものとする。						
		・冷媒配管口径、配線は製造者標準仕様とする。						
		・室内機、室外機間の制御線・電源線配線（冷媒配管共巻）を含む。						
		・ワイヤレスリモコン、室外機用銅製架台（既製品）						PC-KJ60相当
ACP-8'	パッケージ形 空気調和機	室外機 定格冷房能力 3.6kW	1	200	1.04	4	1階 相談室	RCSA04043JXU相当
		室内機 天井吊り形 ドレンアップキット L字配管キット					3階 支援室1	※
		制御線・電源線兼用方式（電源重畳方式）					3階 支援室2	※
		標準仕様、冷媒はオゾン層破壊係数0のものとする。					3階 支援室3	※
		・冷媒配管口径、配線は製造者標準仕様とする。					※はドレンアップ無し	
		・室内機、室外機間の制御線・電源線配線（冷媒配管共巻）を含む。						
		・ワイヤレスリモコン、室外機用銅製架台（既製品）						PC-KJ60相当

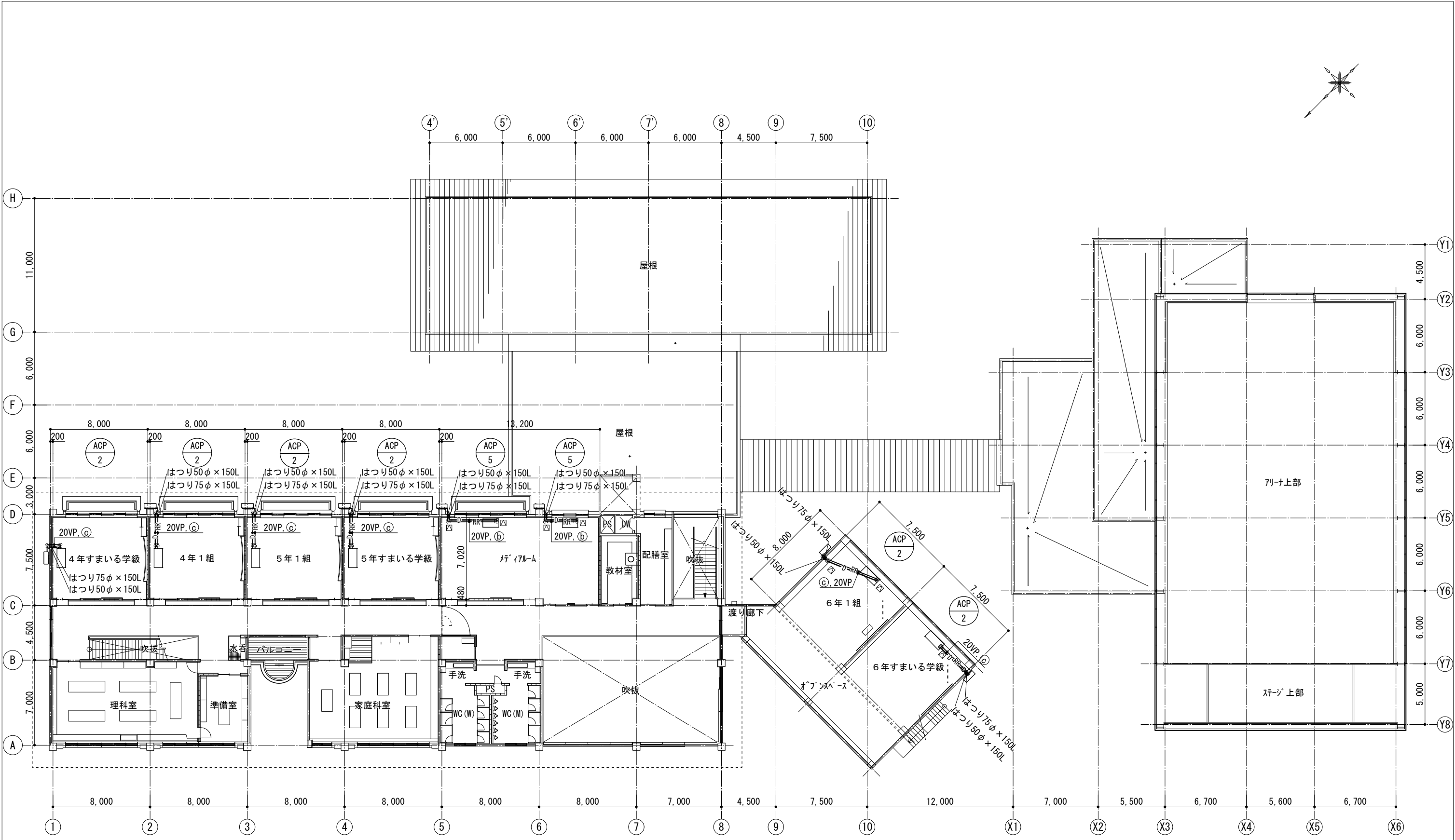
記号	機器名称	機 器 仕 様	電 気 容 量			台数	設 置 場 所	備 考
			相	V	kW			
ACR-1	ルームエアコン	室外機 定格冷房能力 2.2kW	1	100	0.53	1	1階 公務補室	RAS-2213AT相当
		室内機 壁掛形						RAS-2213T相当
		標準仕様、冷媒はオゾン層破壊係数0のものとする。						
		・冷媒配管口径、配線は製造者標準仕様とする。						
		・室内機、室外機間の制御線・電源線配線(冷媒配管共巻)を含む。						
		・ワイヤレスリモコン、室外機用銅製架台(既製品)						PC-KJ30相当



記号	液管×ガス管
①	6.4φ×9.5φ
②	6.4φ×12.7φ
③	9.5φ×15.9φ

☒ : 天井点検口450×450（建築工事）
 ※ドレン管はG.L+500まで立ち下げとする
 ※室外機取付高さは、立面参考図参照

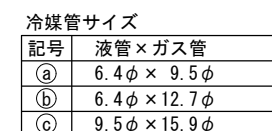
 : 優先設置箇所



冷媒管サイズ

記号	液管×ガス管
(a)	6.4φ×9.5φ
(b)	6.4φ×12.7φ
(c)	9.5φ×15.9φ

□ : 天井点検口450×450 (建築工事)
※ドレン管はG.L.+500まで立ち下げとする
※室外機取付高さは、立面参考図参照



※室外機取付高さは、立面参考図参照



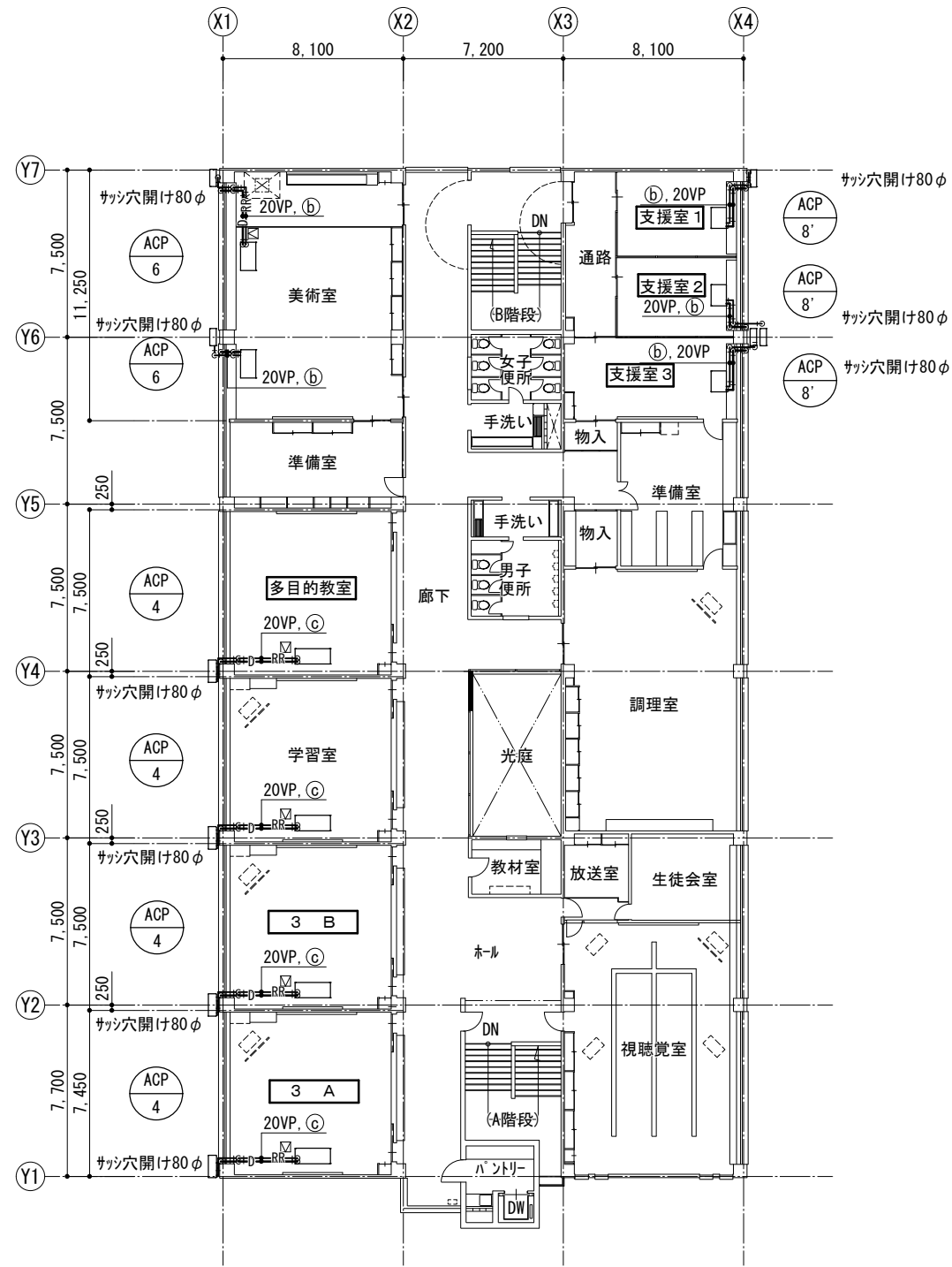
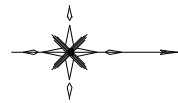
記号	液管×ガス管
①	6.4φ×9.5φ
②	6.4φ×12.7φ
③	9.5φ×15.9φ

☐ : 優先設置箇所

☑ : 天井点検口450×450 (建築工事)

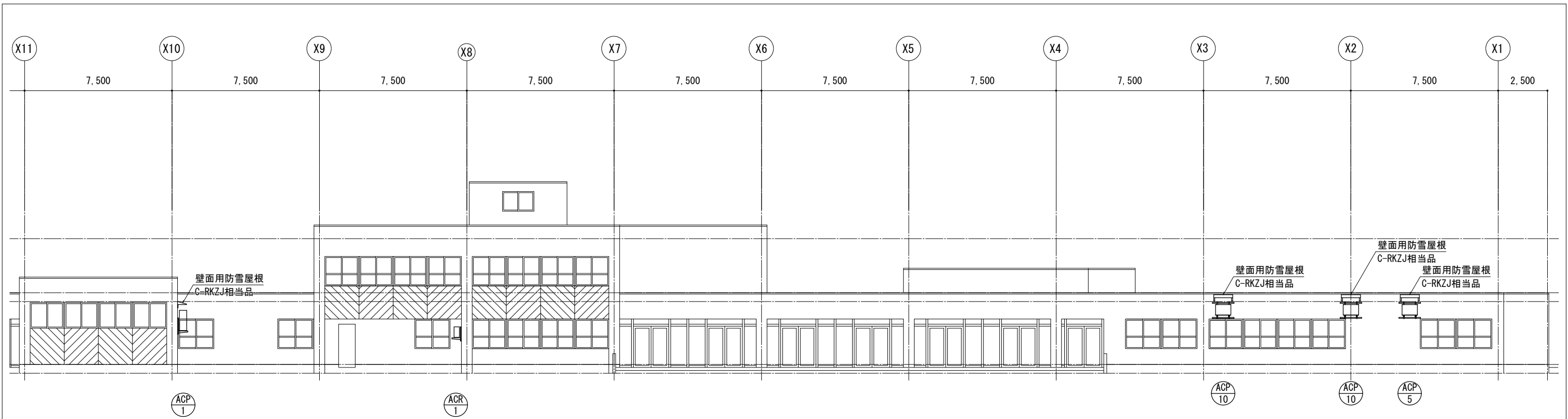
※ドレン管はG.L+500まで立ち下げとする

※室外機取付高さは、立面参考図参照

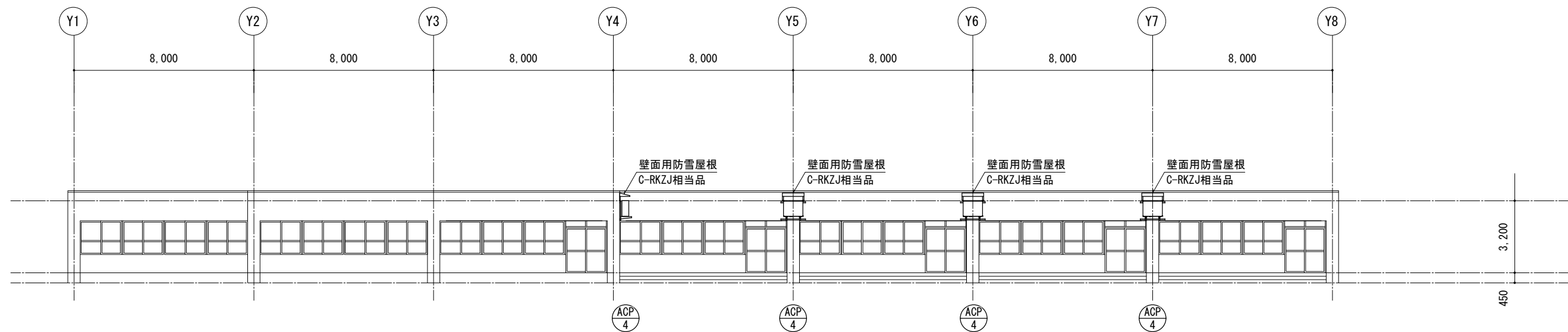


冷媒管サイズ	
記号	液管×ガス管
①	6.4φ×9.5φ
②	6.4φ×12.7φ
③	9.5φ×15.9φ

□ : 優先設置箇所
☒ : 天井点検口450×450 (建築工事)
※ドレン管はG.L+500まで立ち下げとする
※室外機取付高さは、立面参考図参照



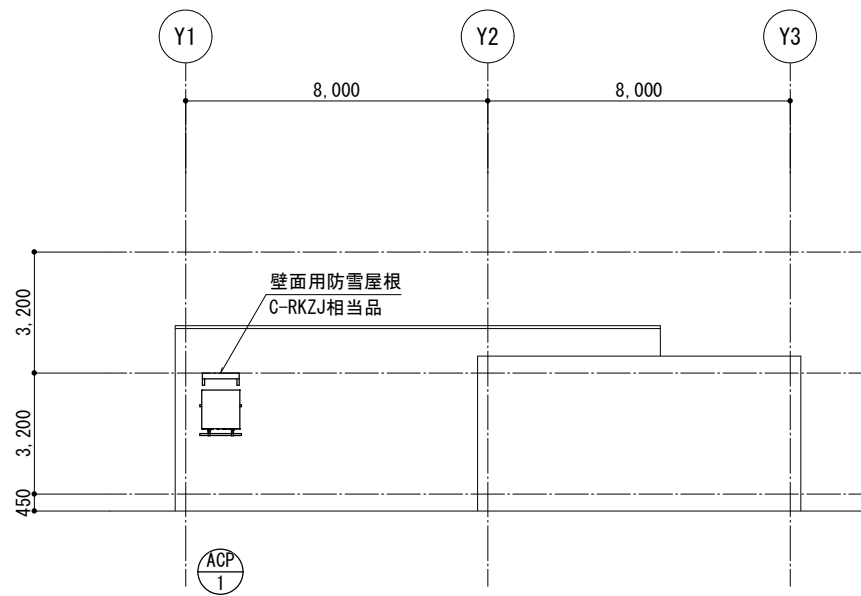
南西立面图



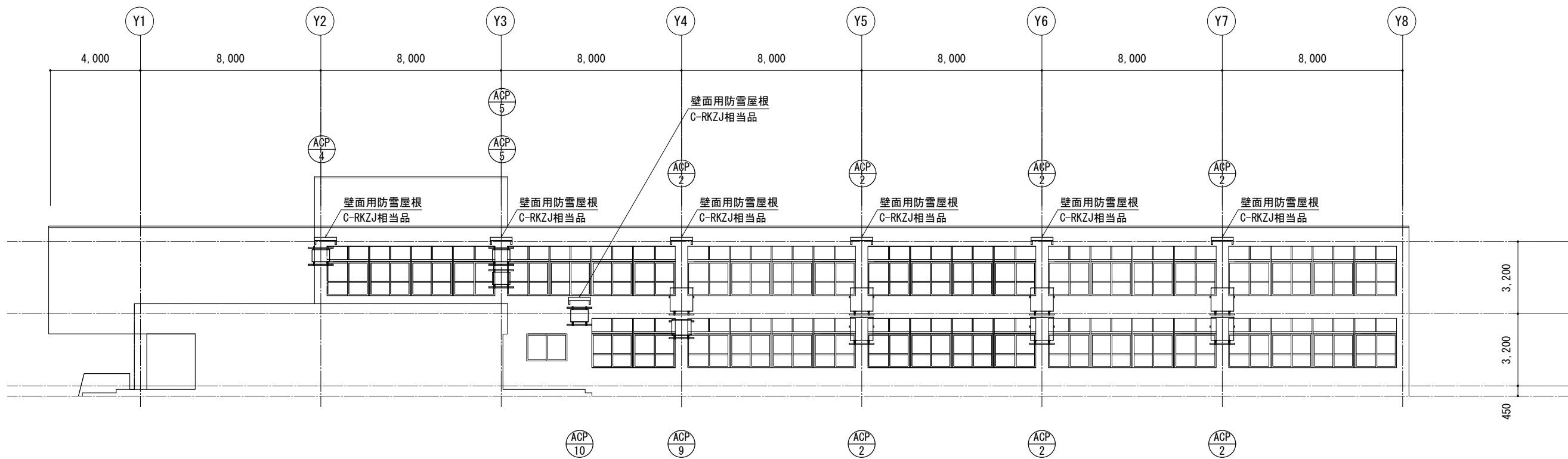
東南立面图 X1通

ACP 3

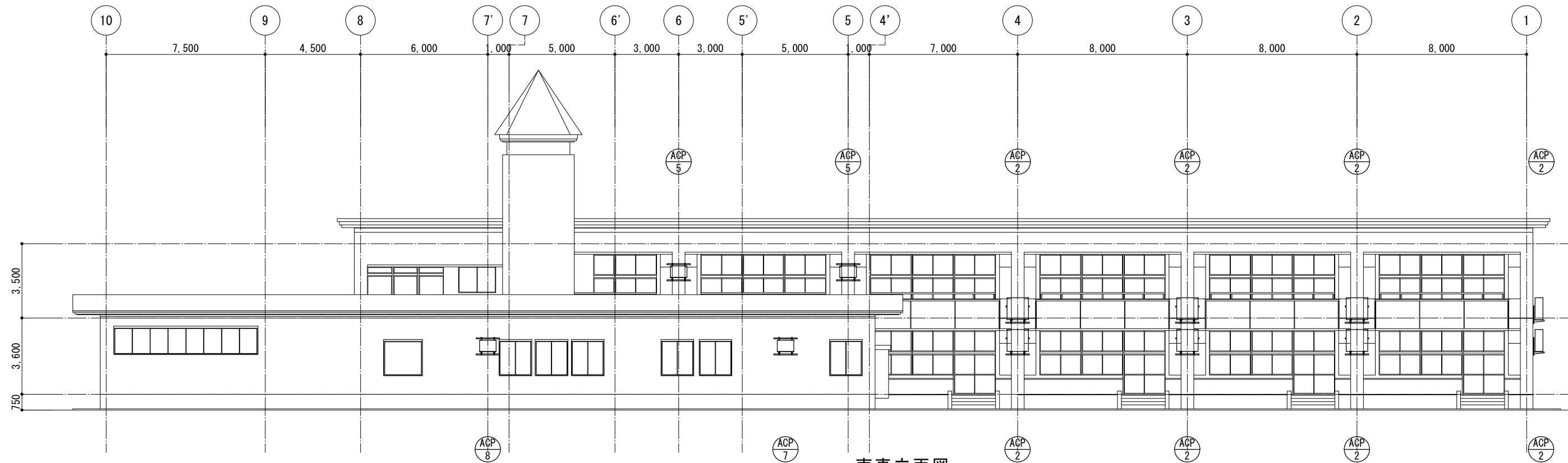
 <div>一級建築士事務所 北海道知事登録(上)204号 株式会社 創明建築設計事務所 〒070-0039 旭川市9条通12丁目2191番地103 Tel: 0166-21-8886 / Fax: 0166-21-8887</div>	代表設計者 一級建築士登録 143974号 三嶋 幸利	承認・校閲 一級建築士登録 346907号 構造設計一級建築士10365号 設備設計一級建築士 5911号 建築設備士 20AA-00268号 三嶋 弘人	担当 Tsuchiya	製図 Tsuchiya	縮尺		年月 2024. 4	工事名 鷹栖町立学校施設空調設備整備事業 図面名 鷹栖小学校 空調設備立面参考図 No.1	図面番号 M-11
					A 1	-			
					A 2	-			
					A 3	1/200			



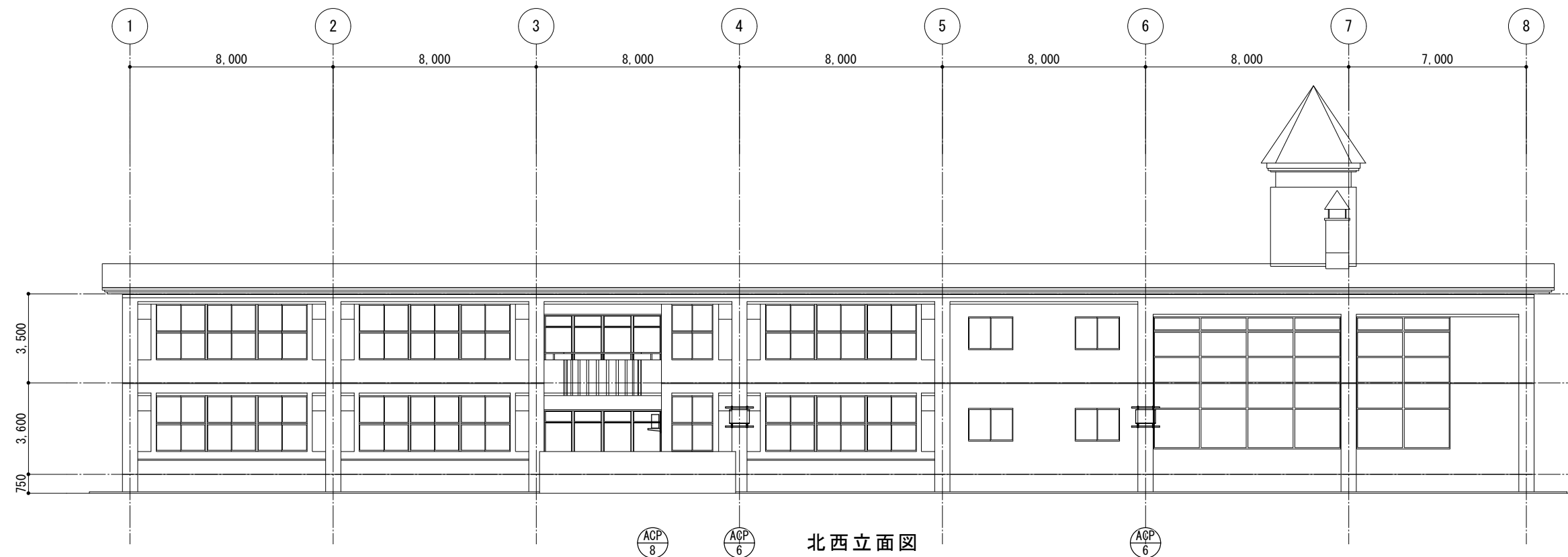
X10通り立面図 1/200



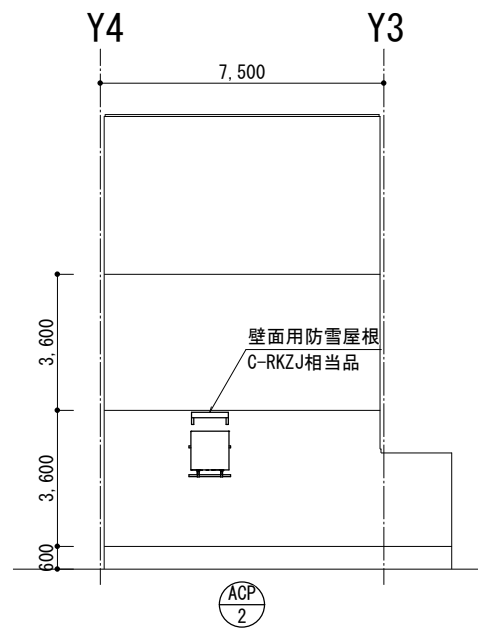
南東立面図 X6通



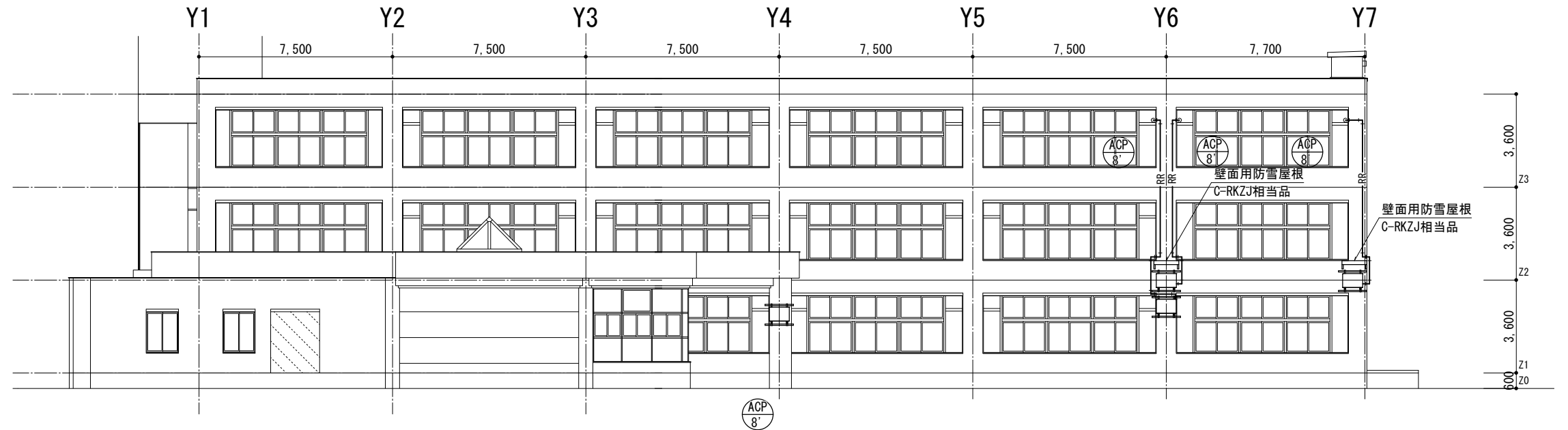
南東立面图



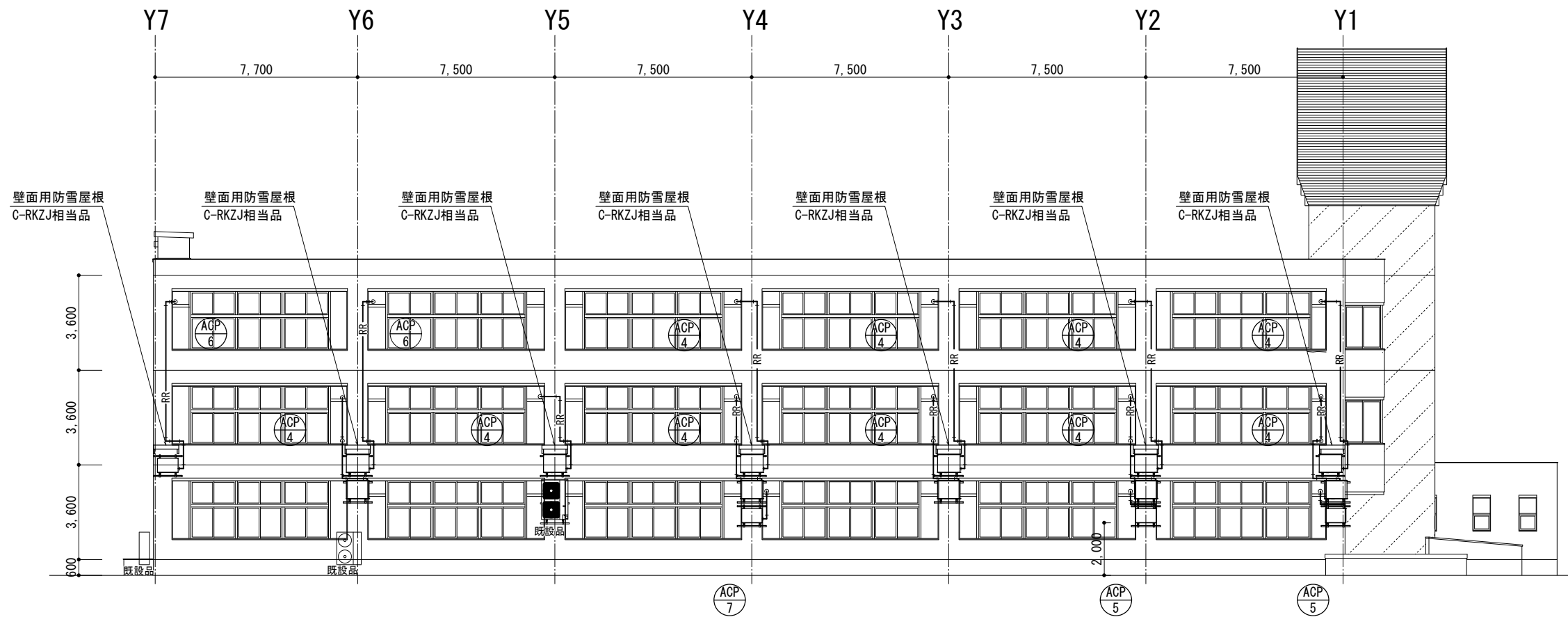
北西立面图



南側光庭 S=1/200



北側立面図 S=1/200



南側立面図 S=1/200